

地域に浮かぶ船

「学校は地域に浮かぶ船である」と称されるように、学校は地域の方々が手塩にかけて創り上げてきた「象徴」であり、「誇り」でもあります。幼小中一貫校「福部未来学園」についても、これからの時代を生き抜く子どもたちの教育を、この福部の地で責任をもって行いたいという地域の願いや思いが一つの「形」となって表れたものとも言えます。現在、平成30年度の幼小中一体型校舎完成に向け、着々と工事が進んでいます。

さて、今年も福部未来学園の中学3年生の生徒たちは、修学旅行の際に「福部PR活動」を行いました。ふるさと福部の思いを汲み取り、仲間と共にまとめた「地域情報誌」を手し、浅草・浅草寺前の顔見世では外国人観光客に向け、JR舞浜駅前ではディズニーランドを訪れる観光客等に向け活動を展開しました。

舞浜での活動の最中に、青森県から修学旅行の引率でおいでになっていたある中学校の校長先生が私に声を掛けてくださいました。「自分の学校の校訓は『自主』『協同』『明朗』であるが、その理想とする姿が目の前で展開されている。」そう一言告げて去って行かれる先生の手には、「地域情報誌」と「砂丘らっきょう」がしっかりと握られていました。生徒たちの一生懸命な姿が、その校長先生の心に響いたのでしょう。思わず後を追いかけて感謝の気持ちをお伝えしました。

「急いでいるから…」と断られても、笑顔で「ありがとうございました」と返す生徒たちの姿を大変誇らしく思いました。

「理想」と言えば、2年前から始めた浅草での英語による「福部PR活動」もある意味理想の活動なのかもしれません。先日、修学旅行でも人気の職業体験施設に、新たに「通訳案内士」が加わったという話を聞きました。「英語を使った職業を」という学校側のリクエストに応えたもので、外国人スタッフが扮する観光客のツアーをガイドしながら、「食べ物」「名所」などを紹介する「疑似体験」ができるそうです。本学園が浅草で取り組んでいる活動に通じるものがあります。大きな違いは、生徒たちの体験は「疑似」ではなく「リアル」であるということです。英語による「福部PR活動」が、先進的な取組であることは間違いありません。

福部未来学園は「地域に浮かぶ船」にとどまらず、「地域をけん引する船」、いや「日本をけん引する船」をめざし取組を進めていきたいと考えています。もちろん母港（母校）は福部です。順風満帆な航海ができるよう、引き続き地域・保護者の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

福部未来学園中学校長 長石 彰

「円陣」

ミーティングのときに組む『円陣』は、集団の力のバロメータです。『全体』と『個』という二つの視点から自分の立ち位置を判断しなければならないからです。どこに立てば真円に近い『円陣』が組めるのか。その判断が問われます。

数年前の正月2日のことでした。年末に降った雪がゼリー状になって残ってはいましたが、車で走る分には何ら困らない、静かに晴れ渡った朝でした。

突然、渋滞が始まりました。正月のことですから、走る車も少ないはずですし、普段、渋滞など起こるはずもない道路です。おかしいなあと思い、窓から顔を出してびっくりします。

前方の対向車線で、車がひっくり返っているのです。

すわ、一大事。慌てて路肩に車を停めて駆けつけます。クツはびしょ濡れになりますが、そんなことに構ってられません。

「行くぞっ！」

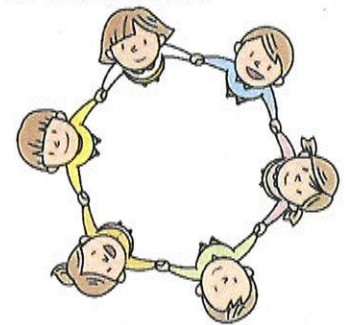
車の周りに集まってきた誰かが叫びます。事態は逼迫しています。

「イッセーの一で一」

掛け声とともに力を入れたとき、ふと気づきます。反対車線で、交通整理をしている人。その指示で、止まることなく通り過ぎる車の列。車を起こすことに全力を傾けているはずなのに、不思議なことです。

車は一瞬で起き上がります。中からは放心した女性が一人。どうやらケガはないようです。車を安全な場所まで押していき、知り合いらしき人がしきりに声をかけているのを見届けたところで、集まっていた人たちは何も告げることなく去っていきます。その当時流行っていたフラッシュモブのようでした。

福部未来学園中学校もそんな集団になればいいなと思います。全体の中で自分に何が求められているのか瞬時に判断できる力。そして自分にできることをできる範囲でやりぬく力。そんな力を一人ひとりが持てたなら、今よりもっと素敵な学園になるとわたしは信じています。



福部未来学園中学校 教諭 北村 哲生

3年生が制作した「地域情報誌」（日本語版）は福部未来学園中学校HPのトップページ上で紹介しています。ぜひご覧ください。

縦の連携（幼小中、学年）を一層強めています

福部未来学園の2年目がスタートしました。今年は昨年以上に小中、学年をこえた連携強化に取り組んでいます。今年から始まった2つの取り組みを紹介します。

1つめは、先日実施した「小中合同遠足」です。小学1年生から中学3年生までが8班（1班13人程度）に分かれ、オアシス広場まで中学生が小学生の手を取りながら行きました。中学生が小学生を気づかいながら歩く姿は



立派な地域のお兄さん、お姉さんでした。オアシス広場では「二人三脚リレー」「色別対抗鬼ごっこ」などを楽しみ、お弁当も班別で楽しく食べました。初めての取り組みでしたが、今年1年間の幼小中縦割り活動の充実を感じさせる取り組みとなりました。

自治力を養っていきこうと始めています。上級生が良き見本となり、黙々掃除をする姿は新鮮であり、頼もしさも感じます。

2つめは「縦割り班清掃」です。1年生から3年生までの異学年メンバーのチームで清掃を行っています。掃除の仕方を先輩から後輩にきちんと伝え、それぞれの掃除場所の専門となることにより学年を超えた協働性と



良き伝統、新しい伝統

3年の修学旅行を終えました。福部未来学園中学校の修学旅行には2つの特別なミッションがあります。1つは良き伝統となっている舞浜駅での福部町PR活動です。そして、もう1つは昨年度から始まったみらい科の取り組みとして行っている、浅草での英語を用いた外国人の方への福部町PR活動です。2年生の時に、日本語版と英語版の情報誌を作成し、砂丘で練習し、この2つのミッション遂行の準備をしてきました。3年生は見事この2つのミッションを遂行し、先日、1・2年生にその様子を報告しました。報告会ではビデオや寸劇など工夫を凝らし、わかりやすく後輩に伝えました。3年生の誠実な行動と1・2年生の真剣な姿は良き伝統・新しい伝統を繋げていこうという気持ちの伝わるものとなりました。



今後の予定

5月

6月上・中旬

15	月	眼科検診、個別相談	1	木	東部総体（給食なし）
16	火	3年実力テスト、個別相談	2	金	東部総体（給食なし）
17	水	内科検診	3	土	
18	木	歯科検診、尿検査予備日	4	日	
19	金	縦割り班活動	5	月	学校公開週間（～9日）、教育実習開始
20	土		6	火	
21	日		7	水	生き方セミナー
22	月		8	木	
23	火		9	金	激励会
24	水	大山登山	10	土	
25	木	大山登山	11	日	
26	金		12	月	前期中間テスト発表
27	土		13	火	東部陸上
28	日		14	水	きなんせ！イングリッシュキャラバン
29	月		15	木	東部陸上予備日
30	火		16	金	
31	水	激励会	17	土	